

建設関連業検討会フォローアップの議事概要について

平成23年4月12日(火)に開催した建設関連業検討会フォローアップの議事概要を以下のとおり発表いたします。なお、会議資料については、建設関連業HP(URL：http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/const/sosei_const_tk2_000016.html)に掲載しております。

建設関連業検討会フォローアップ 議事概要

日 時：平成23年4月12日(火) 13:30～15:30

場 所：中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

出席者：小澤一雅、渡邊法美、吉村孝司、田中弘、矢島壮一、堤盛人、中山毅、市川喜久男、友永則雄、成田賢、横田耕治、大藤朗、藤森祥弘、坂根工博、横山晴生(代理：多田智)、長田信、名波義昭(代理：奥村康博)、谷脇暁(代理：塩見英之)、松本大樹(敬称略)

- 資料1、資料2、資料3、資料4-1、資料4-2、資料6について、事務局から説明
- 資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料5-1、資料5-2について、各業団体から説明

(議事内容)

(1) 「検討会報告書を受けた取組状況」について

- ・ 「建設関連業の課題と展望」のとりまとめから1年が経過し、行政、各業界団体ともに丁寧に対応して頂いているという感想をもった。
- ・ 建設コンサルタンツ協会においては、厳しい価格競争に伴い得た経験があったと思うので、これについてももう少し焦点をあてて検証してはどうか。
- ・ 中国における若者の学習意欲は凄まじく、日本の若者の良きライバルとなっている。建設関連業においても、日中の若者が積極的に関わってくれるような仕組み、取り組みができないか。
- ・ 3月11日の東日本大震災から復旧、復興において、建設関連業の果たすべき役割が高まってきている。震災の復旧、復興の経験を海外競争力の向上につなげていくべきではないか。
- ・ 建設コンサルタンツ協会においては、建設コンサルタントへの認知度を高めるために、小中学生向けのホームページを開設しているが、人材の確保、育成の観点から

非常に良い取り組みだと思う。

- ・ 技術力承継を進めるため、即戦力的な人材だけではなく、長期的な人材育成という観点からも考えることが重要である。
- ・ 技術力承継という観点において、経済的なインセンティブの検討が必要ではないか。
- ・ 測量士の地位向上の観点からも、業務内容の難易度に応じた上で、積算を行ってはどうか。
- ・ 現在の入札契約制度において、管理技術者の業務成績を評価項目としている場合があるが、これにより若手技術者の機会が失われているのではないか。若手技術者についての評価枠を設定し、若手技術者の育成を促すことはできないか。
- ・ 取り組みについては途中段階であるので、その結果や効果について、新たな課題も含め、どのように取り組んでいるのか継続的に示して欲しい。その際、行政の取り組みだけでなく業界、発注者の取り組みについても示すこと。

(2) 「建設関連業の活性化に向けた課題と対応の方向(案)」について

- ・ 報告書に記載されているが、価格を決める際は、業務コストの積み上げをするのではなく、その価値に基づき決定する仕組みを中長期的に検討すべきではないか。

(3) 「東北地方太平洋沖地震への対応状況」について

- ・ 技術の承継がなされないと、これから10年、20年たつとできなくなることがあると思う。東日本大震災に対する対応で、今後技術の承継がなされなければできなくなることがあるのではないか。検証・整理が必要ではないか。
- ・ 液状化災害に関し、地質調査を行い液状化対策をとった地域は被災しなかった。この震災を契機に、地質調査の重要性について再認識して欲しい。

以 上